

# 和光市デジタルミュージアム紀要

## 第7号



### 目次

#### <論稿>

和光の地質	大滝 孝久	p 1
学びを育む地域文庫の歴史 一和光市における西大和団地と諏訪原団地を中心に一	中岡 貴裕・石川 敬史	p 27
<確認調査報告>		
半三池遺跡溝確認報告（市道 268 号線他改良工事地点）	鈴木 一郎	p 43
<実績報告>		
令和2年度 和光市埋蔵文化財調査年報	江口やよい	p 49



2021.3

和光市教育委員会



## 序文

和光市では郷土にゆかりのある貴重な文化財などを後世に伝え活用するために、これまで多くの方々から資料をご提供いただき、文化財保存庫に収蔵してまいりました。これらの収蔵物等を広く市民の皆様方にご紹介し、本市の歴史や文化をご理解いただくため、平成24年4月1日からWeb上で「和光市デジタルミュージアム『れきたま』」の配信を開始しました。配信開始以来、年間約20,000件の閲覧をしていただいております。そして、『れきたま』の充実をさらに図るべく、和光市文化財保護行政の1年間の成果を取りまとめた「和光市デジタルミュージアム紀要」を創刊し、併せてWeb上での公開をしてから今年度で第7号となりました。

今回、那須町文化財保護審議委員の大滝孝久氏から、外環工事の際に行った地層調査や採取された貝化石資料をもとに「和光の地質」と題した貴重な成果をいただきました。また、和光市職員中岡貴裕氏と十文字学園女子大学の石川敬史氏からは、西大和団地と諏訪原団地を中心とした地域文庫の歴史についての論稿をいただき、紀要内容の充実にご協力を賜りました。誠にありがとうございました。さらに、文化財パトロール中に発見した半三池遺跡包蔵地内での遺構についてや令和2年度の埋蔵文化財調査年報も併せて掲載いたしております。

有形・無形文化財、民俗的文化財など先人の残した文化財は、本市の貴重な財産であり、後世に残していく責任があります。また、このような文化財の蓄積は、本市の歴史や文化財を学び理解していただく上で有効なものであると考えています。

最後になりましたが、本紀要の刊行にあたりまして日ごろからご指導いただいております埼玉県教育局市町村支援部文化資源課、和光市文化財保護委員会委員各位、また、公私ともご多用の中、たくさんのご教示・ご高配を賜りました関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます、あいさついたします。

令和3年3月  
和光市教育委員会  
教育長 大久保昭男

